

JANS若手の会

第4回東海エリア検討会のご報告

2024年6月30日（日）に第4回東海エリア検討会をオンラインにて開催しました。

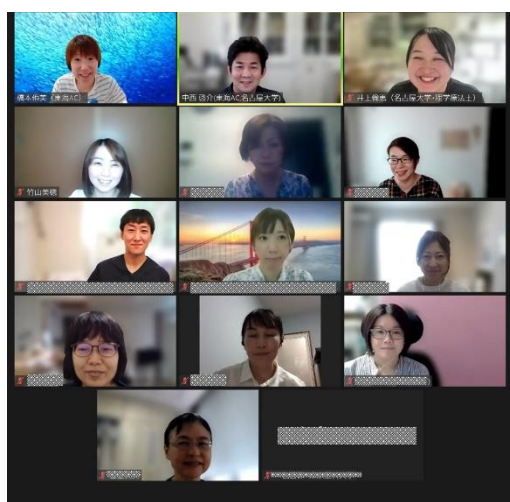
『行きづまっていた私×研究者仲間に出会うまで「私はこうしてきた」若手研究者たちの告白 -』をテーマに、竹山美穂先生（東京家政大学、講師、看護師、北関東AC*）、橋本侑美先生（名古屋女子大学、講師、看護師、東海AC*）、井上倫恵先生（名古屋大学、助教、理学療法士）（発表順）にご講演いただきました。また、全国から10名の方が参加してくださいました。

竹山先生からは「職場や専門性の垣根なく、研究者同士が話し合える場」を求め、ご自身で研究者同士の互助会（ピアサポートの会）を構築されるに至ったご経験をお話しいただきました。また、橋本先生からは臨床からアカデミックの分野に活動の場を移して直面した「職務上、研究が求められるが、どう研究していいかわからない」といった課題を、多くの研究者とつながり、協力を得ることで取り組んでこられたご経験をお話しいただきました。また、井上倫恵先生からは理学療法学界におけるマイノリティ領域であった女性の尿失禁に対する理学療法の研究会を、国際学会等を通じて出会った「志を同じくした研究者同士」で立ち上げたことや、女性のライフイベントに合わせたキャリア形成のご経験をお話しいただきました。

総じて、『研究に行きづまった時には、各人が「自分軸」で研究をみつめなおし、勇気をもって「安心して自身の研究を話し合える仲間、刺激しあえる仲間」を所属施設内・外に求めていくことの大切さを教えていただきました。

終了後アンケートでは「社会人院生として育児をしながら大学教員を志す中で、行き詰まることも多々ありますが、研究の楽しさや失敗を経験知として活かしていくということ学びました。」「（講師には）個人的なことを話してくださり、とても親近感が持てました。」といった、参加者の今後の研究推進につながる好意的なコメントをいただくことができました。

東海エリアでは、引き続き仲間づくりに関心のある人同士が知り合う「ハブ」としての役割を大切にしていきます。今後の活動にご期待ください。次回は2025年を予定しています。



* AC : JANS若手の会 エリアコーディネーター